

## 第14章 準備書記載事項の修正の概要

準備書に対する経済産業大臣の勧告（平成30年4月24日 20171031保第27号）、環境大臣からの意見、長崎県知事の意見を踏まえ、準備書の記載内容の見直しを行い、その記載事項を修正した。

修正の概要は、表14-1のとおりである。

表14-1 準備書記載事項の修正の概要(1/14)

### 【全般】

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
全般	全般	準備書時点における誤記等を修正した。	適切な記載とした。

### 【第2章 対象事業の目的及び内容】

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
第2章 対象事業の目的及び内容 2.2 対象事業の内容 風車配置 2.2.4 対象事業実施区域	5	以下の項目について追記した。 ・航行船舶に対する影響、安全対策 ・枕島北海域を作業海域に選定した理由 ・現状土地の改変を伴う作業 ・工事による環境影響が無いと判断した理由 ・組み立て海域における環境保全措置 ・作業海域で工事音を発生する工事内容 ・組立海域における工事中のモニタリング結果	より詳細な内容を記載した。
2.2.5 特定対象事業の主要設備の配置計画、その土地利用に関する事項 (1)主要設備の配置計画 ②配置場所について	8,10	係留アンカーが隣接する風車同士で支障とならないことが判断できる配置計画図を追記した。	より詳細な内容を記載した。
③海底ケーブル	8	設備の最大出力と接続可能量について追記した。	より詳細な内容を記載した。
(2)発電所設備 1)浮体式洋上風力発電施設	11,14	係留アンカーの形状を追記した。	より詳細な内容を記載した。
2)灯標等（安全対策）	15	航行船舶に関する影響、安全対策について追記した。	より詳細な内容を記載した。
3)海底ケーブル b.風車間海底ケーブル	16	海底ケーブルの敷設予定位置について追記した。	より詳細な内容を記載した。
2.2.6 工事の実施に係る工法、期間及び工程計画に関する事項 (1)工事期間及び工事工程	18	陸上部の工事関係車両に関して、概略工事工程に追記した。	より詳細な内容を記載した。

表 14-1 準備書記載事項の修正の概要 (2/14)

【第2章 対象事業の目的及び内容】

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
(2)主要な工事の方法及び規模	19,20	以下について追記した。 ・ 福江港岸壁に関する関係者との協議・調整状況 ・ 5,200kW 風車の設営及び仮置きに関する事項、ヤード整備工事等に関する事項	より詳細な内容を記載した。
(6)土地使用面積	25	「岸壁ヤード」を「浮体部建造ヤード」に統一、修正した。	適切な記載とした。
(8)工事中の排水に関する事項	25	想定される工種毎の排水の種類、工事中の排水について処理方法を追記した。	より詳細な内容を記載した。
2.2.7 切土、盛土その他の土地の造成に関する事項 (4)工事に伴う産業廃棄物の種類および量	26	「岸壁ヤード」を「浮体部建造ヤード」に統一、修正した。	適切な記載とした。
2.2.9 供用開始後の定常状態における操業規模に関する事項 (2)風車発電機の騒音等に関する事項	27～29	採用機種騒音及び超低周波音のパワーレベル、FFT 分析結果、純音評価結果、純音成分の周波数、Tonality、Tonal audibility について詳細を追記した。	より詳細な内容を記載した。
(3)主要な建物等	30	保守管理の拠点港について追記した。	より詳細な内容を記載した。
(4)供用後の措置	30	供用後の用途・撤去について追記した。	より詳細な内容を記載した。

【第3章 対象事業実施区域及びその周囲の概況】

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
第3章 対象事業実施区域及びその周囲の概況	38～421	統計資料等を最新データへ更新した。	適切な記載とした。
3.1 自然的状況 3.1.5 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況	90～310	長崎県レッドリストの改訂、環境省レッドリスト2018の公表に伴ってデータを更新した。	適切な記載とした。
	76,79, 148,150, 226～228, 304	「実証事業」の、調査時期に関する注釈において調査が未実施の場合、「調査なし」と追記した。	適切な記載とした。
	101,173,209	資料において亜種の記載を含むため、種数は亜種を含めて計上した旨を注釈に追記した。	適切な記載とした。
	135,210,287, 302	重要な種の個体群指定がある場合の抽出方法について追記した。	適切な記載とした。
(1)陸域の動物の状況 2)鳥類	101	亜種の取扱いについて「日本鳥類目録 改訂第7版」に掲載されていない種の分類及び配列の出典を追記した。また、渡り区分の表記方法について、優先順位を追記した。	適切な記載とした。

表 14-1 準備書記載事項の修正の概要 (3/14)

【第3章 対象事業実施区域及びその周囲の概況】

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
6)重要な種及び注目すべき生息地の概要(陸域の動物)	136	チョウセンイタチを重要な種から削除した。	適切な記載とした。
(3)陸域の植物の状況 1)植物相	233,278	亜種・変種・品種等の記載を含むため、種類として計上した点について追記した。	より詳細な内容を記載した。
3)重要な種及び重要な群落等の概要(陸域の植物)	233, 234~278, 287, 289~295	亜種・変種・品種等の記載を含むため、「種」を「種類」と修正した。	適切な記載とした。
3.1.6 景観及び人と自然との触れ合いの活動の場の状況	311~319	「世界遺産候補」、「世界遺産候補構成資産」の「候補」を削除した。	第42回世界遺産委員会において、世界遺産一覧表への記載が決定したため。
3.2 社会的状況 3.2.3 河川、湖沼及び海域の利用並びに地下水の利用の状況 (3)天然礁及び人工礁	338,339	天然礁及び人工礁について追記した。	より詳細な内容を記載した。
3.2.4 交通の状況 (2)港湾・航路の位置及び利用状況 2)航路	345	高速船として、⑫福江(～奈留)(～土井浦)(～郷ノ首)(～若松)の航路を追記した。	適切な記載とした。
3.2.5 学校、病院その他の環境の保全についての配慮が特に必要な施設の配置の状況及び住宅の配置の概況 (1)環境の保全について配慮が特に必要な施設の配置の状況 4)文化施設	357,358	鬼岳天文台を追加し、最寄りの文化施設までの距離を7.1kmに修正した。	適切な記載とした。
3.2.8 環境の保全を目的とする法令等により指定された地域その他の対象及び当該対象に係る規制の内容その他の環境の保全に関する施策の内容 (4)自然関係法令等 12)森林法の規定により指定された保安林	409	使用していない出典を削除した。	適切な記載とした。
(5)その他の環境の保全に関する地域の選定状況 2)マリーン IBA	414	図面から風車を削除した。	図面の縮尺を考慮した記載とした。

表 14-1 準備書記載事項の修正の概要 (4/14)

【第5章 配慮書に対する経済産業大臣の意見及び事業者の見解】

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
第5章 配慮書に対する 経済産業大臣の意見及び 事業者の見解 5.2 経済産業大臣の意見 及び事業者の見解	464	事業者の見解について、評価書を取りまとめるにあたり追加または見直しを行った事項について追記した。	より詳細な内容を記載した。

【第6章 方法書についての意見と事業者の見解】

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
第6章 方法書について の意見と事業者の見解	471~473, 478~480	事業者の見解について、評価書を取りまとめるにあたり追加または見直しを行った事項について追記した。	より詳細な内容を記載した。

【第8章 環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法】

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
第8章 環境影響評価の 項目並びに調査、予測及 び評価の手法 8.1 環境影響評価の項目 の選定 8.1.1 環境影響評価の項 目 (1)本事業の事業特性	484	運搬工事車両について詳細を追記した。	より詳細な内容を記載した。
(2)主な地域特性	485,486	統計資料や種数の更新等、第3章の更新に合わせて修正した。	適切な記載とした。
8.1.2 環境影響評価の項 目の選定及び非選定の理 由	489	水の濁りに関する建設機械の詳細と選定しない理由を追記した。 海底ケーブル等の水揚げ作業に係る環境影響の有無について追記した。	より詳細な内容を記載した。
8.2 調査、予測及び評価 の手法 8.2.6 景観	515,516	関係者との協議及び意見の中で示された眺望点や手法、評価基準について追記した。	より詳細な内容を記載した。
8.3 専門家等の助言	522	専門家等へのヒアリングの際に提示した資料の内容を追記した。	より詳細な内容を記載した。

表 14-1 準備書記載事項の修正の概要 (5/14)

【第 10 章 環境影響評価の結果】

項目	評価書 記載頁	修正内容	修正の理由
第 10 章 環境影響評価の結果	545～1074	統計資料等を最新データへ更新した。	適切な記載とした。
		長崎県レッドリストの改訂、環境省レッドリスト 2018 の公表に伴ってデータを更新した。	適切な記載とした。
		「世界遺産候補」、「世界遺産候補構成資産」の「候補」を削除した。	世界遺産一覧表への記載が決定のため。
10.1 調査の結果の概要並びに予測及び評価の結果	545	海域環境として「流況」、「水質」、「底質」、「水中音」に関して現地調査結果を 10.1.7 章に整理した理由を追記した。	より詳細な内容を記載した。
10.1.1 騒音 (1)調査結果の概要 ii.現地調査 (ii)調査地点	548,549	騒音調査地点周辺の家屋状況が分かる図を追記した。	より詳細な内容を記載した。
(iii)調査期間	550	調査期間の設定について追記した。	より詳細な内容を記載した。
(iv)調査方法	550	除外音処理の方法および除外音の対象とした音について追記した。 測定に使用した計測器のメーカー及び機種を追記した。	より詳細な内容を記載した。
(v)調査結果	551	除外音処理の方法および除外音の対象とした音について追記した。	より詳細な内容を記載した。
(2)予測及び評価の結果 (施設の稼働) 2)予測の結果 iv.予測手法 (i)計算式 iii)地表面効果による減衰量	559	地表面効果の算定式を追記した。	より詳細な内容を記載した。
(ii)予測条件 ii)風力発電機のパワーレベル	560	第 2 章に風車発電機の騒音に関する事項をとりまとめたことを追記した。 純音成分について詳細を追記した。 swish 音について追記した。	より詳細な内容を記載した。
10.1.2 超低周波音 (1)調査結果の概要 ii.現地調査 (iii)調査期間	571	除外音処理の方法及び除外音の対象とした音について追記した。 調査期間の設定について追記した。	より詳細な内容を記載した。
(v)調査結果	572	除外音処理の方法及び除外音の対象とした音について追記した。	より詳細な内容を記載した。

表 14-1 準備書記載事項の修正の概要 (6/14)

【第 10 章 環境影響評価の結果】

項目	評価書 記載頁	修正内容	修正の理由
10.1.3 動物（重要な種及び注目すべき生息地（海域に生息するものを除く。）） (1)調査結果の概要 1)哺乳類（コウモリ類）及び鳥類に関する動物相の状況 a.哺乳類（コウモリ類） ii.現地調査 (iii)調査期間	602	調査時の降雨量データを追記した。	準備書に対する住民意見を踏まえ、詳細な内容を記載した。
(iv)調査方法	604	①洋上調査について、調査方法を追記した。	より詳細な内容を記載した。
(v)解析方法	605	コウモリ類の音声について追記した。	より詳細な内容を記載した。
(vi)調査結果	606	確認種のグループ分けに関する説明を追記した。 調査結果の表記を追記した。	より詳細な内容を記載した。
b.鳥類	614,666	長崎県レッドリストの改訂により更新した。	適切な記載とした。
	614	「長崎市自然環境報告書」を最新版に更新した。	適切な記載とした。
	615, 616～622, 639, 640～646, 773	以下の文献その他の資料の更新に伴い、確認種数を修正した。 ・「長崎・五島列島 福江島の博物誌」 ・「長崎県レッドリスト」 ・「長崎市自然環境報告書」	適切な記載とした。
	668, 669～671, 773, 796～798	長崎県レッドリストの改訂に伴い、重要な種の種数を修正した。	適切な記載とした。
	622,646,657, 660,671,688, 798	亜種の記載を含むため、種数は亜種を含めて計上した点について、注釈に追記した。	適切な記載とした。
	622,646,648, 654,657,671, 688,693,698, 798	渡り区分の表記方法について、優先順位を注釈に追記した。	より詳細な内容を記載した。

表 14-1 準備書記載事項の修正の概要 (7/14)

【第 10 章 環境影響評価の結果】

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
b.鳥類	622,646	「日本鳥類目録 改訂第7版」に掲載されていない種の分類及び配列の出典を注釈に追記した。	より詳細な内容を記載した。
i.文献その他の資料調査 (ii)調査結果 ii)「実証事業」における鳥類調査結果	623,625	「実証事業」の、調査時期に関する注釈において調査が未実施の場合、「調査なし」と追記した。	適切な記載とした。
エ.バードストライク調査 (TADS)の結果	626	バードストライク調査について、確認件数を追記した。	より詳細な内容を記載した。
ii.現地調査 (v)調査結果 i)鳥類相	639	鳥類相調査だけでなく、すべての鳥類調査の結果で整理したことを追記した。	より詳細な内容を記載した。
	647	図に渡り鳥の合計種数を追記した。	より詳細な内容を記載した。
ii)船舶トランセクト調査 ア.確認種数及び個体数	648	調査結果の表記を追記した。	より詳細な内容を記載した。
ウ.高度分布	653	オオミズナギドリ、カンムリウミスズメ以外の鳥類は高度0~25mを1区分として調査・整理したことを追記した。	より詳細な内容を記載した。
iii)沿岸ルートセンサス調査	654	調査結果の表記を追記した。	より詳細な内容を記載した。
iv)陸上スポットセンサス調査、陸上ルートセンサス調査 イ.環境区分	658	環境区分別の整理において、個体数を1スポット単位で整理している理由を追記した。	より詳細な内容を記載した。
	658	環境区分の出典を追記した。	より詳細な内容を記載した。
	660	ツグミ属を上位5種から除外し、取扱いについて注釈に追記した。	内容を見直した。
2)重要な種及び注目すべき生息地の分布、生息の状況及び生息環境の状況 b.鳥類 ii.現地調査 (ii)調査地点	679,680	図表に崎山漁港を追記した。	適切な記載とした。
(iii)調査期間	682	鳥類調査期間に延べ日数を追記した。	より詳細な内容を記載した。
(v)調査結果 i)定点調査 イ.秋季	692	種別の個体数を追記した。	より詳細な内容を記載した。
(ア)アカハラダカ	694	アカハラダカについての記載である旨、章立てした。飛翔分類をハチクマと統一した。	適切な記載とした。
	694	対象事業区域は主な渡り経路ではないと推測される旨を追記した。	より詳細な内容を記載した。

表 14-1 準備書記載事項の修正の概要 (8/14)

【第 10 章 環境影響評価の結果】

項目	評価書 記載頁	修正内容	修正の理由
(イ)ハチクマ	696	ハチクマについての記載である旨、章立てした。 飛翔分類をアカハラダカと統一した。	適切な記載とした。
	696	対象事業区域は主な渡り経路ではないと推測される旨を追記した。	より詳細な内容を記載した。
ウ.洋上 (ア)種数及び個体数	698	洋上定点における海面の浮遊個体の確認状況を追記した。	より詳細な内容を記載した。
(イ)飛翔方向	699	飛翔方向図を整理した種の選定条件を追記した。	より詳細な内容を記載した。
	699	洋上定点における移動が直線上の飛翔であったことを追記した。	より詳細な内容を記載した。
(ウ)飛翔高度	703	オオミズナギドリ、カンムリウミスズメ以外の鳥類は高度 0～25m を 1 区分として調査・整理したことを追記した。	より詳細な内容を記載した。
	703	図に高度区分別の個体数（数値）を追記した。	より詳細な内容を記載した。
ii)レーダー調査	705～707, 720～723, 732～733, 742～747	気象データの出典を追記した。	より詳細な内容を記載した。
ア.春季	718,730	飛翔速度の出現分布について、説明を追記した。	より詳細な内容を記載した。
イ.秋季	740,755	飛翔速度の出現分布について、説明を追記した。	より詳細な内容を記載した。
(イ)垂直回し	754	軌跡密度の高い高度区分についての説明を正確な表記に修正した。	適切な記載とした。
(2)予測及び評価の結果 (地形改変及び施設の存在、施設の稼働) 1)環境保全措置 a.哺乳類（コウモリ類）	756	風車間の空間確保、航空障害灯に関する保全措置を追記した。	適切な記載とした。
b.鳥類	756	風車間の空間確保に関する保全措置を追記した。	適切な記載とした。
2)予測の結果 a.哺乳類（コウモリ類） iv.予測結果	758～764	現地調査でのエコーロケーションコール確認回数を、調査時期辺りの最大回数に修正した。	内容を見直した。
	760	現地調査ではホオヒゲコウモリ属としてグループ分けしたことを追記した。	より詳細な内容を記載した。
	762	現地調査での確認について、アブラコウモリの可能性もあることを追記した。	より詳細な内容を記載した。
	764	ヤマコウモリ属のヨーロッパでの移動について、具体的な距離を追記した。	より詳細な内容を記載した。



14-1 準備書記載事項の修正の概要(9/14)

【第10章 環境影響評価の結果】

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
b.鳥類 iii.予測手法 (ii)事業影響の予測	768	高度区分の模式図の高度区分を分かりやすく修正した。	適切な記載とした。
iv.予測結果	773~775	調査結果の表記、チュウシャクシギとミサゴの衝突数推定結果について考察を追記するに合わせて、文章の位置を修正した。	適切な記載とした。
	775,776	オオミズナギドリの典型種としての選定理由を追記した。	より詳細な内容を記載した。
	775,785,790	チュウシャクシギとミサゴの衝突数推定結果について考察を追記した。	より詳細な内容を記載した。
	776~792	現地調査での状況を、崎山地区調査での確認状況としてとりまとめた。	適切な記載とした。
	785	移動経路の遮断・阻害について、影響が生じにくいと考えられる理由を追記した。	より詳細な内容を記載した。
v.その他重要な鳥類に関する予測	795	グループ分けする鳥類に、予測評価済みの6種を含まない旨を記載、修正した。	内容を見直した。
vi.風車後流の鳥類に関する影響予測 (iii)風車後流の鳥類に関する影響について	804	具体的な技術レベルを記載するとともに、指導助言を得た専門家等を記載した。	より詳細な内容を記載した。
3)評価の結果 a.哺乳類(コウモリ類) b.鳥類	805	事後調査の結果、影響の程度が著しいことが明らかとなった場合の対応方針について、「10.3.2事後調査計画」へ統合した。	適切な記載とした。
a.哺乳類(コウモリ類)	805	風車間の空間確保、航空障害灯に関する保全措置を追記した。	適切な記載とした。
b.鳥類	805	風車間の空間確保に関する保全措置を追記した。	適切な記載とした。
	805	評価項目を追記した。	より詳細な内容を記載した。
10.1.4 海域に生息する動物	834,835,840,841,842	「実証事業」の、調査時期に関する注釈において調査が未実施の場合、「調査なし」と追記した。	適切な記載とした。
	883,908	浮体の形状、風力発電施設の構造について追記した。 浮体表面の塗料について追記した。	より詳細な内容を記載した。
(1)調査結果の概要 1)動物相の状況 a.海棲哺乳類 ii.現地調査 (v)調査結果 ii)鳴音調査	816	単位「相対レスポンス」の定義を追記した。	より詳細な内容を記載した。

表 14-1 準備書記載事項の修正の概要(10/14)

【第 10 章 環境影響評価の結果】

項目	評価書 記載頁	修正内容	修正の理由
2)藻場、サンゴ群集の分布及びそこにおける動物の生息環境の状況 a.藻場・サンゴ群集 i.文献その他の資料調査	853	文献その他の資料に「第4回自然環境保全基礎調査」を追記した。	適切な記載とした。
(2)予測及び評価の結果 (地形改変及び施設の存在、施設の稼働) 2)予測の結果 a.海棲哺乳類	888～897	音の種類を区別するため SEL の単位は「 [SEL]dB 」と修正した。(SPL はこれまでと同様に「dB」と表記した。)	より詳細な内容を記載した。
iv.予測結果	885～897	24 時間曝露レベル(SEL)の定義、24 時間曝露レベルと水中音圧レベル(SPL)との関係を追記した。 周波数帯別の海棲哺乳類の聴覚感受性を考慮した SEL を追記した。	より詳細な内容を記載した。
(iii)24 時間曝露レベル (SEL) の算定及び閾値との比較	896	鯨類の移動について追記した。	より詳細な内容を記載した。
b.魚類等 (水産生物) iv.予測結果 (i)既往研究結果との比較による水中音の影響 i)島山らの研究結果との比較	898	影響範囲を正確な表記に修正した。	適切な記載とした。
(ii)実証試験による魚類への影響	902	洋上風力発電に係る魚集効果の事例及び研究等を追記した。	より詳細な内容を記載した。
	902～903	予測結果について、事例をもとに追記した。 不確実性が高いことから事後評価を実施する旨を追記した。	適切な記載とした。
10.1.5 海域に生息する植物 (1)調査結果の概要 1)植物プランクトンの主な種類及び分布の状況 a.植物プランクトン i.文献その他の資料調査 (ii)調査結果 i)「実証事業」における植物プランクトン調査結果	909,910	「実証事業」の、調査時期に関する注釈において調査が未実施の場合、「調査なし」と追記した。	適切な記載とした。

表 14-1 準備書記載事項の修正の概要(11/14)

【第 10 章 環境影響評価の結果】

項目	評価書 記載頁	修正内容	修正の理由
2)藻場、サンゴ群集の分布及びそこにおける動物の生息環境の状況 a.藻場・サンゴ群集 i.文献その他の資料調査	917	文献その他の資料に「第 4 回自然環境保全基礎調査」を追記した。	適切な記載とした。
ii 現地調査 (ii)調査地点	923	任意調査の調査地点を正確に示した。	適切な記載とした。
(2)予測及び評価の結果 (地形改変及び施設の存在)	941,943	浮体の形状、風力発電施設の構造について追記した。 浮体表面の塗料について追記した。	より詳細な内容を記載した。
10.1.6 景観 (1)調査結果の概要 1)主要な眺望景観 a.文献その他の資料調査 ii.調査方法	944	世界遺産に関する眺望点の選定が地元関係者との協議によるものであることを追記した。	より詳細な内容を記載した。
b.可視領域の検討	948	可視領域の解析対象を計画風車のみに修正した。	適切な記載とした。
3)主要な眺望景観の状況 a.文献その他の資料調査 ii.調査結果	953 954	フェリー航路からの垂直見込角を最大の条件として修正した。 最も近い風車までの距離に加え、最も垂直見込角の大きくなる風車までの距離も追記した。	適切な記載とした。 より詳細な内容を記載した。
3)主要な眺望景観の状況 a.文献その他の資料調査	955	図にフェリー航路を追記した。	より詳細な内容を記載した。
b.現地調査 iv.調査方法	956	写真撮影の方法等を追記した。	より詳細な内容を記載した。
v.調査結果	957~969	風車までの距離は、垂直見込角が最も大きい風車までの距離を採用した。	適切な記載とした。
(2)予測及び評価の結果 (地形改変及び施設の存在) 1)環境保全措置	970	世界遺産に関する眺望点の選定が地元関係者との協議によるものであることを追記した。 風車の塗装の詳細を追記した。	より詳細な内容を記載した。
2)予測の結果 ii.予測地点	970 970 971	予測地点に最も風車の垂直見込角が大きくなるフェリー航路上の 1 地点を追加し、予測地点を 7 地点から 8 地点 10 シーンに修正した。 特に重要な眺望点の詳細及び田ノ浦港を予測地点として選定した理由を追記した。 福江～長崎フェリー航路上の予測地点を追加した。	より詳細な内容を記載した。 適切な記載とした。 より詳細な内容を記載した。
v.予測結果 (i)主要な眺望点及び景観資源	973	垂直見込角 0.5°、1.0°、1.5°、2.0°ののライン、フェリー航路及び航路上の予測地点を追記した。 可視領域の解析対象を計画風車のみとした。	より詳細な内容を記載した。

表 14-1 準備書記載事項の修正の概要(12/14)

【第 10 章 環境影響評価の結果】

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
(ii)主要な眺望景観	975, 1000～1003	フェリー航路上の予測地点を追加した。	より詳細な内容を記載した。
	974～1011	風車までの距離は、垂直見込角が最も大きい風車までの距離を採用した。	適切な記載とした。
	1000～1009	フェリー航路上のパノラマ写真に、フォトモンタージュ作成範囲を追記した。	より詳細な内容を記載した。
3)評価の結果 i .環境影響の回避・低減に関する評価	1012	世界遺産に関する眺望点の選定が地元関係者との協議によるものであることを追記した。	より詳細な内容を記載した。
		風車の塗装の詳細を追記した。	より詳細な内容を記載した。
10.2 環境の保全のための措置 (1)工事の実施に係る環境の保全のための措置	1044	新たな土地造成を行わないこと他、工事中の環境保全措置を追記した。	より詳細な内容を記載した。
(2)土地又は工作物の存在及び供用に係る環境の保全のための措置	1044	風力発電施設の位置、風車配置等について環境保全措置を追記した。 異常音について、具体的に追記した。 風車施設のメンテナンスに関する事項を追記した。	より詳細な内容を記載した。
	1046～1050	保全措置について、10.1 章及び 10.2 章の修正に合わせ追記した。	より詳細な内容を記載した。
10.3 事後調査 10.3.1 事後調査の実施に関する検討計画	1051	騒音及び超低周波音について、稼働開始後に影響が確認された場合の対策について追記した。	より詳細な内容を記載した。
	1052	風力発電機の色彩の詳細を追記した。	より詳細な内容を記載した。
10.3.2 事後調査計画	1053	事後調査の実施、報告書の作成方法、情報公開、事後調査後の対応について追記した。	準備書に対する経済産業省大臣勧告を踏まえて、より詳細な内容を記載した。
表 10.3.2-1 コウモリ類	1054, 1055	風車ナセルにおける連続調査、衝突監視カメラ調査を追加した。 追加的な環境保全措置の具体例について追記した。	準備書に対する経済産業省大臣勧告を踏まえて、より詳細な内容を記載した。
表 10.3.2-2 鳥類	1056	調査内容の詳細を追記した。	より詳細な内容を記載した。
		衝突監視カメラ調査を追加した。	準備書に対する経済産業省大臣勧告を踏まえて、より詳細な内容を記載した。
		環境影響の程度が著しいことが明らかとなった場合の対応方針を追記した。	準備書に対する長崎県知事意見を踏まえて、より詳細な内容を記載した。

表 14-1 準備書記載事項の修正の概要(13/14)

【第 10 章 環境影響評価の結果】

項目	評価書 記載頁	修正内容	修正の理由
表 10.3.2-3 海生動物・ 海生植物 海棲哺乳類・ 魚類	1058	水中音調査と同時に、周波数特性、伝搬特性、 複数風車の影響など、風車施設による水中音の 特性を把握することを追記した。	準備書に対する長崎 県知事意見を踏まえ て、より詳細な内容 を記載した。
		水中音の調査期間を「運転時を含む 1 週間程度 の連続観測」に修正した。 水中音調査と同時に水温、塩分等の環境情報を 把握することを追記した。	より詳細な内容を記 載した。
表 10.3.2-3 海生動物・ 海生植物 藻場・サンゴ群集（潮間 帯生物）	1058	水中観察の調査期間について、施設点検に合わ せて実施することを追記した。 生物生息空間の創出効果・魚集効果ついて、専 門家等の指導を受けた上で評価を行うことを追 記した。	より詳細な内容を記 載した。
10.3.3 環境監視	1059～1060	章を追加し、工事中及び供用期間中の環境監視 項目・内容について記載した。	準備書に対する経済 産業省大臣勸告及び 長崎県知事意見を踏 まえ、より詳細な内 容を記載した。
		水中音について、漁業者等と情報共有を図るこ とを記載した。	準備書に対する長崎 県知事意見を踏まえ て、より詳細な内容 を記載した。
10.3.4 その他の取組み	1060	風車騒音及び超低周波音について、現地調査を 実施し、結果を報告書に記載することを追記し た。	準備書に対する長崎 県知事意見を踏まえ て、より詳細な内容 を記載した。
		調査研究等への協力について追記した。	より詳細な内容を記 載した。
10.4 環境影響の総合的な 評価	1061～1074	調査、予測及び評価結果の概要について、10.1 節と整合の取れた記載となるよう修正した。	適切な記載とした。

表 14-1 準備書記載事項の修正の概要(14/14)

【第 11 章 その他環境省令で定める事項】

項目	評価書 記載頁	修正内容	修正の理由
第 11 章 その他環境省令 で定める事項 11.1 配慮書についての関 係地方公共団体の長の意 見及び一般の意見の概 要、並びに事業者の見解	1078,1079, 1084～1088	事業者の見解について、評価書を取りまとめる にあたり追加または見直しを行った事項につい て追記した。	より詳細な内容を記 載した。
11.2 発電設備等の構造若 しくは配置、事業を実施 する位置又は事業の規模 に関する事項を決定する 過程における環境の保全 の配慮に係る検討の経緯 及びその内容	1089	本事業の風車機種、規模（出力）、配置案に係 る検討の経緯を追記した。	より詳細な内容を記 載した。

【添付資料】

項目	評価書 記載頁	修正内容	修正の理由
添付資料－ 1	付-15 ～付-18	予測地点の追加に伴い、資料を追加した。	より詳細な内容を記 載した。